

[COSTANTINO BERTUCCI]

コスタンティーノ・ベルトゥッチの研究

中野二郎

1841年3月12日ローマに生れ、1931年6月、90才の高齢をもって同所に逝いたイタリアの初期の著名なマンドリンヴィルトゥオーゾで作曲家。

彼の父は庭園師でマンドリンと現代リュートに巧みであった。

息子が5才の時に之を教え始め、3年後には父と共に二重奏を公開する程になった。

12才の時コスタンティーノは、ローマの其頃最も賑やかな社交場であったCafe Nuovoにマンドリン独奏者としてデビューし、あだ名を「ボルゴの若者」と呼ばれて、その地方では上手なマンドリン弾きとして知られるようになった。

この時期に彼はCesare Galanti (Papal Chapelの楽長で弾き手の一人) から学んだFinestauriから理論と実際の知識を授けられた。

Bertucci は早くから教授を初め、彼の公演の時は屢々 (しばしば) Paolo Curtiのカラショーネ (リュート属の撥弦楽器) の伴奏によった。

彼は彼の生涯の曲り角であったという次の事を語っている。

『或る祭日のガーデンパーティーに弾いた時、そこにPapal DragoonsのBandのメンバーで劇場のコンサートアーティストでもあるクラリネット奏者がきょに来ていた。

彼はオペラからのある抜萃 (ばっすい) を所望したので、私が之を弾いてから彼と話をしているうちに、私が音楽を読みとることの出来ないことをいやという程悟らされた。

私は唯耳と記憶に頼っていたのである。

この人はBaccaniといって其の後私の良い友となり又師となった彼に負うところが多かった。

彼の導きによって私は新しい夜明けを迎え、大きな経験をしたのである。』

Bertucciは又ギターも学んだ。

1860年から彼はイタリア及び外国にも多くの演奏会を開き宮廷での演奏にも推挙された。

之は彼の弟子のGavaggi侯爵の紹介で、ローマの王室でも幾多の好遇を受けた。

彼は又、イタリア勉強に来ていたフランスの若い音楽家Gervais Salvayre (ローマ大賞受賞者) にマンドリ

ンの手ほどきをした。

このことによって彼との友情は生涯続き、Salvayreはパリーに帰ってからマンドリンの為に作曲し又そのオーケストレーションの中にマンドリンを加えた。

1878年Bertucci はマンドリンオーケストラを組織してパリーのトロカデロに出演した。

之は大成功を収めて以後パリーにおけるマンドリンの大流行が始まったのである。

そして又Bertucciのマンドリンオーケストラによる器楽は、トロカデロからヴェルサイユに中継された最初のテレフォンでもあった。

彼が帰国して間もなく、時の皇后マルゲリータ陛下は（1873年皇太子妃の時Belisario Materaにマンドリンを学ばれた）モンツァの宮廷にこの合奏団を招かれ、

又1885年トムマーソ皇子の結婚の機には、彼の指揮によるマンドリンオーケストラが宮廷で演奏された。

1881年から93年に至るまでマンドリンは至る所で愛好されて、

そのうち最も著名なマンドリンオーケストラの一つに皇后マルゲリータ陛下の後援の許にあるRoyal Margheritaであった。

この合奏団は1887年から88年の間に100回以上の演奏会を持ち、又屢々（しばしば）皇室・貴族の前で演奏した。

著名なのはピッティ宮廷において、又セルビア女王の歓迎レセプション等であった。

Bertucci は又ローマ型マンドリンの構造について幾多の改良を施した。

彼のマンドリンへの作品はその形式は純粹で古典的な傾向を示し、非常に高度なものであった。

又マンドリン独奏の無伴奏曲の創始者でもあった。

之は恐らくバッハのヴァイオリン無伴奏曲からヒントを得たものであろう。

この曲は大体1886年イタリアで出版されたが、当時他のマンドリン作曲家の試みなかった新機軸を示したものであった。

当時のマンドリン合奏団の大部分は婦人たちで編成されたもので、ギター演奏者が加わることは稀であった。

従って伴奏パートはいつもハープに委せられた。

Bertucciの合奏団もペサロのロッシェニ音楽学校のハープ教授ジャンヌッチ伯爵夫人によって為されたのである。

彼の労作マンドリン教則本は1885年ミラノのリコルディから出版せられた。

全三巻に亘（わた）り、フランチェスコ・ビディラに献呈された非常に進歩的なものである。

当時多くの教則本が娯楽的要素を多分に盛り上げていたのに対し、この著は左右両手指の訓練を合理的に進め、凡てが実際の技術の向上に資せられている。

第一巻は主として凡ゆる場合の左手指の訓練に重点が置かれ、

次のような指を固定しておいて或る指を動かすことまで課せられていて他の教則本に見られないものである。

第二巻は右手ピッキングに重点が置かれ凡ゆる調に及んでいる。

各種装飾音、重音、半音階、トリルが課せられるが、次の場合等は示唆に富んでいる。

第三巻は第七ポジションまでと二重音、三及び四弦に亘る各種のアルペジオ、オクターヴ、その他の無伴奏形態各様の練習で結んでいる。

マンドリンの為の18の練習曲集は時のマルゲリータ皇后に捧げられたもので、1902年ミラノのリコルディより出版、之はムニエルのシオルディタにも比すべきもので、各調の上に絢爛たる技巧を鏤（ちりば）めたものである。

アメリカのマンドリニスト、ジュゼッペ・ペッティネはその研究論文「マンドリンデュオの起源と発達及現状」においてマンドリン無伴奏曲（デュオと称する）を最初に書いた人としてBertucciを挙げている。彼は24の無伴奏曲を四つのアルバムの分けてForlivesi及びRicordiで分割出版しているが、之とは別に作品19番の椿姫幻想曲と20番のトロバトーレ幻想曲が1886年に出版されていて、之が最初のものであることが論証されている。

彼はギター独奏曲も数多作曲したが、ギターと組み合わせられたマンドリン曲はむしろ少い。

揺籃期において使用された伴奏楽器がボーンの記事にもあるように、カラショーネ、リュート、ハープ、ピアノ等で二十世紀を迎えようとした頃に漸（ようや）くギターが用いられ初めたことにも因があるように思われる。

今日ギターはマンドリンと共にある一つの座をもっているが、歴史は古くマンドリンとは別個の歴史を辿ったが、今やマンドリンアンサンブルには欠くべからざるものとなった。

次に判明した彼の作品表を掲げる。

曲名はアルファベット順に並べ、曲種、被献呈著名、編成、出版年、出版社の順で作品番号は僅かながら

判明しているものに留めた。

COSTANTINO BERTUCCI

[Composizione]

Abbandono (L')	Mel.		J.		V.R.
Al Chiarore di Luna	Ser.	Cristina Foggia	g.J		R
Allegri of Marel	Bar.	Miss Strickland	J		R
Al Mare	Bar.	Alfred Vanni	g.		R
A Mezza Notte	Ser.	Augusto Ghiandoni	g.		R
Arlecchino nella bara	Mar.	Elena Giabatta	g.		R
Ave Maria (Gounod)	Med.		J.		R
Ballata	Fant.	Cornelia Coralizzi	g		R
Barcarola		Rosa Bncini	g.		R
Berceuse		Mme. Vande Bosche	J		R
Berceuse			f		I.C.
Canto di Gioia	Val.		F	1914	E
Capriccioso	Pol.		b	1910	A.C.
Capriccioso Minuetto		Siga. Marianna Nepoti	f		I.C.
Carnevale di Venezia con Variazione op.2		Caterina Maestra Caldani	J		F.B
C'era na giardiniera	Tema poplare con Var.		J		V
Contrasti amorosi	fant.	Agnese Mancini	f	1914	A.C.
Danses d'Autrefois			f	1914	E
Danza Caratteristica		Giuseppe Galardi	g		R
Danza Caratteristica		Matilde Mariani	g		F.O.

Danzo del Diavolo	Tar	Temstocle Ricceri	g		F.O.
18 Studi		La Principessa Margherita	g		R
Don Corlo(Verdi)	Pot-pourri		J		R
Elegia		Siga. Elena Crocetti			R
Falso Amore	Rom	B.Trentanni	g		F.O.
Fantasia Chitarristica			f		G.R.
Felici Ricordi	Val.		f		I.C.
Fiori Nuziali	fant.	A.S.M.La Regina d'Italia	J		R
Follie Campestri	Maz.		f		I.C.
Gran Duo Concertanto sul RuyBlas(F.Marchetti)			2Mpf		R
Imitazione al Bolero			f		I.C.
Imitazione alla Tarantella			f		I.C.
Idillio d'Amore	Nott.		g		I.C.
Idea religiosa			f		G.O.
Il Sogno	Mel.	Tullia Vannutelli	J		R
Il Trovatore(Verdi)op.20	fant.	Caterina Spezzani	g	1886	R
In Riv al Mare	Ser.		f		I.C.
L'Abbandono	Mel.	Maria Parisi	g		R
L'Aurora	Val.		b	1913	I.C.
La Bergere		Maria Lauzzi	g		F.O.
La Gioconda(Ponchielli)	Canz.	op.13			R
La Luna ci Sorprende	Nott.	Gioseppina Costa	J	.	F.C
L'Odalisca					
La Semplicitta	Maz.		b	1911	I.C.

La Traviata (Verdi) op.19	fant.	Cesare Giusti	g	1886	R
La Traviata (Verdi) op.20	fant.		g		R
Le Berger au fre	Mel.		J		V
Les Premier jours des Petites enfants		Roberto e Luigia Rodgna	J		R
Marcia funebre di Pulcinella		Rosalia Contessa Lovatelli	g		F.O.
Marcia Popolare			b	1913	I.C.
Maesto Pensiero	Mel.	Assunta Foggia	g		R
Metodo per Mandolino I II III	Francesco Bidera		g		R
Misteri d'Amore	Mel		J		B
Minuetto		Giovanni Romanini	g		F.O.
Misteri della Vita	Ele.	G.Falconi	g		F.O.
Na Serenata			c	1912	I.C.
Nella Mestizzia	Maz.		f	1913	E
Nel Sonno la Vedeà	Rom.	Virginia Magnani	J		F.O.
Nella Foresta	Mel.	Kallista Cont.Lovatelli	g	.	F.O
Nenia di fata	Mel.		f	1914	I.C.
Non si danza	Val.		f		I.C.
Notturmo		Pia Farina	g		R
Otello(Verdi) La Canzone del Salice			J		R
Otello(Verdi) Dove guardi Splendono			J		R
Otello(Verdi) Ave Maria			J		R
Otello(Verdi) Ti ho perduta			J		R
Passeggiata Militare umoristica	Mar.		f		I.C.
Penso(Tosti) op15	Mel.		J		R
Preghiera nell'Inferno	fant.	N.Biasi	g		F.O.

Rema Marinar	Bar.		f		I.C.
Ricordo d'Amore	Maz.		f		G.O.
Remeniscenze nell'Aida(Verdi)			J		R
Rigoretto(Verdi) op.10	pot-pourri		J		R
Romanza		Massimo Giovanetti	f		I.C.
Romanza			g	1919	I.C.
Romanza		Ida Corradoni	g		F.O.
Romanza Senza Parole op.1			J		B
Sady	Pol.		b	1912	I.C.
Serenata		Contessa Cerroni	J,c		R
Serenata			b	1912	I.C.
Seconda Serenata			J		C.J.
Seconda Pensiero	Rom.	Siga.Suardi Cont Panti	J		R
Serenata (Gamberalle)			j		C.J.
Serenata Spognola			f		I.C.
Serenata nel Mefistofile(Boito) op.12					R
Souvenir de Maschar		Giuseppe March.Cavalletti	g		F.O.
Sul Mare	Bar		J		C.J.
Scherzo Melodico			J		V
T'amo ancora					
Tutti in festa		Olga Delfini	g		F.O.
Un Primo Pensiero	Mel.		J,c		B
Vita Spensierata	Bol.	Bianca Seganti	g		R
Vorrei amarti	Rom.	Amedea Giusti	g		R
Vorrei Morir (Tosti)	Mel. op.14		J		R

a	mandolino e chitarra
b	2mandolini e chitarra
c	2mandolini mandola chitarra
d	2mandolini mandola mandoloncello chitarra
e	orchestra a plectro
f	chitarra sola
g	mandolino solo
Pf	pianoforte
J	mandolino e pianoforte

〈出版社略記号〉

A.C.	A.Comellini
B.	Bratti
C.J.	Carisch J.
E.	L'Estudiantina
F.B.	Francesco Bianchi
F.O.	Forlivesi
I.C.	Il. Cocerto
G.O.	
G.R.	
I.P.	Il. Plectro
R.	Ricordi
V.	Venturini